

令和6年度胆江地方ニューファーマー希望者募集要領

1 目的

岩手県奥州市並びに金ケ崎町(以下、「胆江地方」という。)では、農業従事者の高齢化と担い手の不足により、農業産出額が減少傾向であり、産地の維持拡大を図るために、新たな担い手の確保が喫緊の課題となっている。

このため、胆江地方農林業振興協議会(以下、「胆振協」という。)では、胆江地方の主要品目について新規就農希望者(ニューファーマー希望者)を広く募集し、就農準備から就農まで総合的に支援することを目的とする。

2 募集対象

以下のすべてに該当する人

- (1) 研修を経て奥州市または金ケ崎町に就農する人
- (2) 概ね50歳未満の人
- (3) 胆江地方の主要品目(ピーマン、トマト、きゅうり、りんどう、りんご、水稲、肉用牛、酪農)で就農する人
- (4) 就農後は農業で生計を立てる意向を有する人

3 日程及び内容

項目		時期・期間	内容
相談・体験	就農相談	毎月第2木曜日 5/9、6/13、7/11、 8/8、9/12、10/10、 11/14、12/12、1/9、 2/13、3/13	胆振協担当者に対応し、就農に関する相談、情報を提供する。希望者は相談日の3日前までに事務局へ申し込む。
	オンライン就農相談	6/13、8/8、10/10、 12/12、2/13	オンライン会議システムを活用した就農相談(隔月で上記の就農相談と同日に実施)。希望者は相談日の10日前までに事務局へ申し込む。
	新規就農事例・農作業体験研修	5月～10月(全6回)	管内の野菜経営体の栽培や経営状況を学ぶことにより、自身の就農後の経営について考えるきっかけとする。
募集	ニューファーマー応募	10月1日(火)～12月13日(金)	研修を経て就農を希望する人は、事務局に申込書を提出する。
選考	書類選考	令和7年1月下旬	新規就農希望者選考要領で定める選考委員から意見をもらい、希望する研修内容や就農への意欲等を確認し、研修受入の可否を決定する。
研修・就農	研修	1～2年間 (2～4月に開始)	主要品目の受入経営体で栽培技術や経営管理の研修を行う。 研修期間は1年以上とし最長2年間とする。 各種研修支援事業や制度の活用を支援する。
	新規就農事例・農作業体験研修	5月～10月	管内の野菜経営体の栽培や経営状況について学ぶことにより、自身の就農後の経営イメージを膨らませる機会とする。
	就農準備	1～2年間	就農計画を作成する。 農地・施設・機械等の準備を支援する。
	就農	令和8年春 または 令和9年春	農業経営開始。 就農後は、近隣のベテラン農家(師匠)等と連携して技術向上指導を行う。

4 応募方法

下記の申込様式により F A Xまたはメール等により事務局に提出する。

項目	申込様式	申込
就農相談申込	様式1 就農相談カード	(対面) 相談日の3日前まで (オンライン) 相談日の10日前まで
ニューファーマー応募	様式2 ニューファーマー希望申請書	10月1日(火)～令和6年 12月13日(金)

※ 研修会の詳細が決まり次第、事前申込があった方に対し、案内を送付するもの

5 申込み先・問合せ先

胆江地方農林業振興協議会事務局

(奥州農業改良普及センター 地域指導課 担当 菅原、岩間)

住所：〒023-1111 岩手県奥州市江刺大通り7-13 奥州地区合同庁舎江刺分庁舎

TEL：0197-35-6741 FAX：0197-35-6303 e-mail:ce0018@pref.iwate.jp